



学校だより

いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標 「いっしょに
一生けんめい」

小山町立須走小学校

令和2年5月号

授業再開に向けて・・・思いは一つ

「もつひと踏ん張りです！」

校長 青木元広

一生に一度あるかないかという緊急事態の中、ゴールデンウィークも、ただただ時の過ぎるのを我慢しながら、家庭で過ごすという日々でした。皆様もつらい日々を送られたことでしょう。

静かに過ごすことがいかに大変なことを思い知らされました。人は基本的に動きたい、活動したいという本能があるのでしよう。まして、成長の著しい小学生にとって、この二か月のストレスはとても大きなことであろうと思います。

ここに来て、もしかすると六月を待たずに学校再開ができるのではないかと、わずかな期待を持っています。

子どもたちが登校したらどんな顔をするだろう、どんな歓声が聞こえるだろうと今から楽しみにしながら、その時を待っています。

しかし、油断は禁物です。三密を避けて、健康的に過ごすあらゆる策を

講じて準備を進めて行こうと考えます。授業再開後に実施する、子どもたちの学校生活について、左記下のとおり取り組んでいきます。

① 登校から帰宅までマスクを着用し、

できるだけ接触をしないで過ごす。

② 登校時間を、地区ごとに時間差をつけ、一斉に昇降口に集まらないようにする。

③ 学級の人数の多い三・五・六年生の座席配置を互い違いにし、前後左右の間隔を広く開ける。

④ 他学年も、机を個別にして最大限の間隔を開ける。

⑤ 体育での接触の多い運動、音楽の歌唱、家庭科の食事を伴う学習などは、できるだけ延期する。

⑥ 給食も、当初計画したとおり、一～三年は二階の教室で食べ、四～六年と三・四組はランチルームで、向き合えない状態で食べる。

⑦ 毎日朝夕に、子どもの触れる場所を中心に消毒を行う。

⑧ 清掃活動は、しばらく教職員で行い、子どもは行わない。

⑨ 集会的な行事は中止か延期し、どうしても必要な行事は、三密にならない方法で実施する。

※主な行事の変更

・富士登山 九月二十五日(金)

(他学年遠足と合わせ小富士登山)

・運動会 十月十日(土)へ

こうした取り組みで、子どもたちが安心して学習したり、遊んだりできるように配慮します。

まだまだ油断はできませんが、子どもたちの笑顔をもたねることを

みんなのエネルギーに変えて、元気よく再出発したいと考えます。どうぞご協力をお願いします。

